

## 薬剤部

### Hospital Pharmacy

部長（併任）	足立伊佐雄	Isao Adachi
助教授	川上 純一	Junichi Kawakami
副部長	三村 泰彦	Yasuhiko Mimura
助手	加藤 敦	Atsushi Kato
薬剤主任(前)	北澤 英徳	Hidenori Kitazawa
薬剤主任	川尻 憲行	Noriyuki Kawashiri
薬剤主任	山之内恒昭	Tsuneaki Yamanouchi
薬剤主任	小笠原明美	Akemi Ogasawara
薬剤主任	中川 洋子	Yoko Nakagawa
薬剤師(前)	木沢真紀子	Makiko Kizawa
薬剤師(前)	東 英津子	Etsuko Higashi
薬剤師	上谷 幸男	Yukio Kamitani
薬剤師	高木 昭佳	Akiyoshi Takagi
薬剤師	村崎 善之	Yoshiyuki Murasaki
薬剤師	堀 雄史	Katsutoshi Horii
薬剤師	蓑島 由佳	Minoshima Yuka
薬剤師	今井 里佳	Rika Imai
薬剤師	須佐 充	Mitsuru Susa
薬剤師	加藤 典子	Noriko Kato

### 著 書

- 1) 川上純一: 薬剤情報のあつめ方とよみ方-EBMの手法と実践. 折井孝男編集, これからの薬剤情報: あつめ方,よみ方, つたえ方, 84-116, 中山書店, 東京, 2005.
- 2) 足立伊佐雄: 漢方薬・生薬薬剤師講座テキスト第2版. 日本薬剤師研修センター編. 漢方処方と病院調剤, 181-193, 日本薬剤師研修センター, 東京, 2005.

### 原 著

- 1) Kizawa M, Miyamoto E, Aono S, Kawakami J, Adachi I: Inhibition of theophylline metabolism by Suplatast and its metabolites in rats. *Biol Pharm Bull* 28: 1061-1065, 2005.
- 2) Kumprakob U, Kawakami J, Adachi I: Permeation enhancement of ketoprofen using a supersaturated system with antinucleant polymers. *Biol Pharm Bull* 28: 1684-1688, 2005.
- 3) Yoshida N, Takagi A, Kitazawa H, Kawakami J, Adachi I: Inhibition of P-glycoprotein-mediated transport by extracts of and monoterpenoids contained in *Zanthoxyli Fructus*. *Toxicol Appl Pharmacol*, 209: 167-173, 2005.
- 4) Kato, A., Kato, N., Kano, E., Adachi, I., Ikeda, K., Yu, L., Okamoto, T., Banba, Y., Ouchi, H., Takahata, H., Asano, N. : Biological properties of D- and L-1-deoxyazasugars. *J. Med. Chem.* 48, 2036-2044, 2005.
- 5) Asano, N., Ikeda, K., Yu, Li., Kato, A., Takebayashi, K., Adachi, I., Kato, I., Ouchi, H., Takahata, H., Fleet, G. W. J. : The L-enantiomers of D-sugar-mimicking iminosugars are noncompetitive inhibitors of D-glycohydrolases? *Tetrahedron Asymm.* 16, 223-229, 2005.
- 6) Goujon, J. -Y., Gueyrard, D., Compain, P., Martin, O. R., Ikeda, K., Kato, A., Asano, N., (2005) General synthesis and biological evaluation of  $\alpha$ -1-C-substituted derivatives of fagomine (2-deoxynojirimycin- $\alpha$ -C-glycosides) *Bioorg. Med. Chem.* 13, 2313-2324, 2005.
- 7) Aiba, T., Susa, M., Dukumori, S. and Hashimoto, Y. :The Effects of Culture Conditions on CYP3A4 and MDR1 mRNA Induction by 1 $\alpha$ ,25-Dihydroxyvitamin D3 in Human Intestinal Cell Lines, Caco-2 and LS180. *Drug Metabolism and Pharmacokinetics* 20, 268-274, 2005.
- 8) 東英津子, 山之内恒昭, 小笠原明美, 三村泰彦, 川上純一, 足立伊佐雄: 病棟における看護師の注射薬の取扱いに関

する調査, 医療薬学 31: 638-645, 2005.

- 9) 竹村麻耶, 川上純一, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: わが国における医薬品使用実態研究への WHO-ATC/DDD システムの適用: 比較可能性の高い測定単位的重要性. 医薬品 情報学 7: 119-120, 2005.
- 10) 境美代子, 安岡彰, 北川洋子, 鳴河宗聡, 三村泰彦: 当院における感染性廃棄物減量化への取り組み, 環境感染, 20, 205-209, 2005.

## 総 説

- 1) 川上純一: 薬剤師にとってのパーソナルドラッグ (P-drug): くすりとエビデンス. EBM ジャーナル 6: 102-106, 2005.
- 2) 川上純一: DPC に基づく包括評価とジェネリック医薬品. 薬剤学 65: 13-18, 2005.
- 3) 川上純一: EBM と薬物動態 (1) イントロダクション: EBM の考え方. Drug Metab Pharmacokinet 20: 39-41, 2005.
- 4) 川上純一: 西欧地域の医薬品制度とオランダにおける薬剤師の活動: オランダ・ライデン大学. 東京都病院薬剤師会雑誌 54: 169-175, 2005.
- 5) 川上純一: 抗菌薬の体内動態を考慮した適切な投与: PK/PD Index と治療効果. 富山県病院薬剤師会報 98: 4-10, 2005.
- 6) 吉田直子, 川上純一: キーワードで解く薬の体内動態: 現場で役立つ薬の知識. 月刊ナーシング 25: 49-57, 2005.
- 7) 吉田直子, 川上純一: 薬の副作用・注意事項にはどんなものがある?: 現場で役立つ薬の知識. 月刊ナーシング 25: 58-68, 2005.
- 8) 竹村麻耶, 吉田直子, 今井里佳, 松森智士, 堀雄史, 川上純一, 足立伊佐雄: 薬剤師にとって必要なエビデンス(1). 日本病院薬剤師会雑誌 41: 209-212, 2005.
- 9) 竹村麻耶, 吉田直子, 今井里佳, 松森智士, 堀雄史, 川上純一, 足立伊佐雄: 薬剤師にとって必要なエビデンス(2). 日本病院薬剤師会雑誌 41: 427-430, 2005.
- 10) 竹村麻耶, 吉田直子, 今井里佳, 松森智士, 養島由佳, 川上純一, 足立伊佐雄: 薬剤師にとって必要なエビデンス(3). 日本病院薬剤師会雑誌 41: 743-746, 2005.
- 11) 竹村麻耶, 吉田直子, 今井里佳, 松森智士, 堀雄史, 川上純一, 足立伊佐雄: 薬剤師にとって必要なエビデンス(4). 日本病院薬剤師会雑誌 41: 1039-1042, 2005.
- 12) 竹村麻耶, 吉田直子, 今井里佳, 松森智士, 堀雄史, 川上純一, 足立伊佐雄: 薬剤師にとって必要なエビデンス(5). 日本病院薬剤師会雑誌 41: 1279-1282, 2005.
- 13) 吉田直子, 今井里佳, 松森智士, 堀雄史, 村崎善之, 川上純一, 足立伊佐雄: 薬剤師にとって必要なエビデンス(6). 日本病院薬剤師会雑誌 41: 1559-1562, 2005.
- 14) 川島今日子, 川上純一, 津谷喜一郎: ヨーロッパと世界のプライオリティ医薬品: エグゼクティブ・サマリーの日本語訳. Executive Summary: Priority Medicines for Europe and the World (Copenhagen: WHO Regional Office for Europe, (2004). 薬理と治療 33: 803-812, 2005.
- 15) 竹村麻耶, 川上純一: 問題解決型学習法: 薬学部 5 年生向けの薬物治療学教育 (訳). Malinowski S: Problem-based learning: the pharmacotherapy course for 5th year pharmacy students. 平成 16 年度厚生科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究推進事業薬剤師の質の向上と充実した薬学教育に関する研究班・日本公定書協会, 高次専門病院薬剤師育成のための臨床教育研修会, 1-55, 2005.
- 16) 川上純一, 竹村麻耶: わが国での医薬品使用実態調査(DUS)に関する方法論の評価と WHO-ATC/DDD の外挿性. 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業包括化・後発品使用・診療ガイドライン使用の中での安全性確保を指向した医薬品実態調査と病院医薬品集選択の方法論のモデル構築に関する研究班, 平成 16 年度総括・分担研究報告書, pp49-66, 2005.

## 学会報告

- 1) Kawakami J, Tomita T, Sugita M, Motohashi S, Takezawa M, Adachi I: Age-dependency of drug-induced convulsion in mice. 13th North American International Society for the Study of Xenobiotics Meeting and 20th Japanese Society for the Study of Xenobiotics Meeting, 2005, 10, Maui, USA.
- 2) Yoshida N, Koizumi M, Kawakami J, Adachi I: Drug interaction associated with herbal medicines: Inhibition of P-glycoprotein-mediated transport by terpenoids. 13th North American International Society for the Study of Xenobiotics Meeting and 20th Japanese Society for the Study of Xenobiotics Meeting, 2005, 10, Maui, USA.
- 3) Kawakami J: Drug utilization study on antibacterial agents in Japan. Symposium: Pharmacoeconomics and outcome research. USA-Japan Conference on Drug Development and Rational Drug Design, 2005, 8, Los Angeles, USA.

- 4) Kawakami J: Clinical pharmacy education in Toyama Medical and Pharmaceutical University: Workshop on clinical pharmacy. USA-Japan Conference on Drug Development and Rational Drug Design, 2005, 8, Los Angeles, USA.
- 5) Yoshida N, Kawakami J, Adachi I: Inhibition of P-glycoprotein-mediated transport by extracts of and monoterpenoids contained in Zanthoxyl Fructus. USA-Japan Conference on Drug Development and Rational Drug Design, 2005, 8, Los Angeles, USA.
- 6) 川尻憲行, 足立伊佐雄, 中川肇, 林隆一: 富山医薬大病院薬剤部における電子カルテシステム導入の現状と問題点. 平成 16 年度大学病院情報マネジメント部 門連絡会議, 2005, 1, 前橋.
- 7) 三村泰彦, 上谷幸男, 竹村麻耶, 野手良剛, 北川洋子, 鳴河宗聡, 安岡彰, 川上純一, 足立伊佐雄: MRSA 感染患者に対する抗生剤の使用状況. 第 20 回日本環境感染学会総会, 2005, 2, 神戸.
- 8) 吉田直子, 高木昭佳, 北澤英徳, 川上純一, 足立伊佐雄: 漢方薬と医薬品との薬物間相互作用: 消化管吸収過程における山椒含有成分による P-glycoprotein の阻害. 日本薬学会第 125 年会, 2005, 3, 東京.
- 9) 那須希生, 加藤敦, 福武純子, 木津治久, 足立伊佐雄: 生薬中に含まれるカテコール-O-メチル基転移酵素阻害物質の探索. 日本薬学会第 125 年会, 2005, 3, 東京.
- 10) 川上純一, 竹村麻耶, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: 医薬品使用実態調査 (DUS) における方法論の評価. 日本薬学会第 125 年会, 2005, 3, 東京.
- 11) 竹村麻耶, 上谷幸男, 三村泰彦, 川上純一, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: 医薬品使用実態調査 (DUS) における集計単位の検討. 日本薬学会第 125 年会, 2005, 3, 東京.
- 12) 大内秀一, 吉田温子, 高畑廣紀, 加藤敦, 足立伊佐雄: アザ-C-ヌクレオシド類の合成研究: 日本薬学会第 125 年会, 2005, 3, 東京.
- 13) 高橋佑司, 堀雄史, 大平裕太, 五十里彰, 坂本尚登, 内藤一郎, 真鍋康二, 内田信一, 佐々木成, 森井孫俊, 竹口紀晃, 酒井秀紀: 胃酸分泌細胞における ClC 塩素イオンチャネルの発現 Expression of ClC chloride channel in gastric parietal cells. 日本薬学会第 125 年会, 2005, 3, 東京.
- 14) 竹村麻耶, 川上純一, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: わが国における医薬品使用実態研究への WHO-ATC/DDD システムの適用: 比較可能性の高い測定単位の重要性. 第 8 回日本医薬品情報学会, 2005, 6, 福井.
- 15) 吉田直子, 小泉まりや, 川上純一, 足立伊佐雄: 生薬・天然物と医薬品との相互作用: テルペノイドによる P-糖蛋白質の阻害. 医療薬学フォーラム 2005・第 13 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2005, 7, 鹿児島.
- 16) 浅野直樹, 虞亮, 池田京子, 加藤敦, 足立伊佐雄, Philippe Compain, Olivier R. Martin: イミノ糖の N-および 1-C-アルキル化がグリコシダーゼ阻害活性に及ぼす影響: 日本糖質学会第 25 回年会, 2005, 7, 滋賀.
- 17) 川上純一: 認定薬剤師の方向性. 今後の方向-認定を考える, 第 20 回臨床薬理富士五湖カンファレンス, 2005, 8, 山梨.
- 18) 川上純一: Trends in pharmacoepidemiology on drug interaction. 第 12 回富山県病院薬剤師会とやま相互作用・副作用セミナー, 2005, 9, 富山.
- 19) 木沢真紀子, 須佐充, 三村泰彦, 川上純一, 足立伊佐雄: 経口投与と経管投与におけるフェニトイン血中濃度変動に関する研究: 注射筒の洗浄回数と薬剤回収率について. 第 15 回日本医療薬学会年会, 2005, 10, 岡山.
- 20) 川上純一, 竹村麻耶, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: 海外と日本における抗菌剤の使用実態調査に関する検討 (1): 調査方法の比較. 第 15 回日本医療薬学会年会, 2005, 10, 岡山.
- 21) 竹村麻耶, 川上純一, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: 海外と日本における抗菌剤の使用実態調査に関する検討 (2): 使用状況の比較. 第 15 回日本医療薬学会年会, 2005, 10, 岡山.
- 22) 川尻憲行, 足立伊佐雄, 中川肇, 林隆一: 富山医科薬科大学病院における麻薬注射オーダ・請求システムおよび麻薬管理システム, 第 15 回日本医療薬学会年会, 2005, 10, 岡山.
- 23) 竹村麻耶, 三村泰彦, 川上純一, 足立伊佐雄: 抗菌剤の使用実態に関する医療施設間での比較. 第 16 回日本病院薬剤師会北陸ブロック学術大会, 2005, 11, 金沢.
- 24) 川上純一, 竹村麻耶, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: 日本における抗菌剤の使用状況に関する薬剤疫学的検討. 第 11 回日本薬剤疫学会学術総会, 2005, 11, 福井.
- 25) 川上純一, 竹村麻耶, 田中真紀子, 熊谷雄治, 渡邊裕司, 内田英二, 津谷喜一郎, 鈴木洋史: 複数の医療機関における抗菌剤の使用状況の比較調査. 第 25 回日本臨床薬理学会年会, 2005, 12, 大分.
- 26) 吉田直子, 小島みなみ, 竹村麻耶, 三村泰彦, 川上純一, 足立伊佐雄: 富山大学附属病院における漢方医薬品と併用薬の使用実態調査. 第 25 回日本臨床薬理学会年会, 2005, 12, 大分.

## その他

- 1) Yoshida N, Koizumi M, Kawakami J, Adachi I: Drug interaction associated with herbal medicines: inhibition of P-glycoprotein-mediated transport by terpenoids. *Drug Metab Rev* 37 (S2): 139-140, 2005.
- 2) Kawakami J, Tomita T, Sugita M, Motohashi S, Takezawa M, Adachi I: Age dependency of Drug-induced convulsion in mice. *Drug Metab Rev* 37 (S2): 293-294, 2005.
- 3) 川上純一, 竹村麻耶, 足立伊佐雄, 津谷喜一郎: 日本における抗菌剤の使用状況 に関する薬剤疫学的検討. *薬剤疫学* 10: S36-37, 2005.
- 4) 川上純一, 竹村麻耶, 田中真紀子, 熊谷雄治, 渡邊裕司, 内田英二, 津谷喜一郎, 鈴木洋史: 複数の医療機関における抗菌剤の使用状況の比較調査. *臨床薬理* 36: S202, 2005.
- 5) 吉田直子, 小島みなみ, 竹村麻耶, 三村泰彦, 川上純一, 足立伊佐雄: 富山大学 附属病院における漢方医薬品と併用薬の使用実態調査. *臨床薬理* 36: S202, 2005.
- 6) 上谷幸男, 三村泰彦, 竹村麻耶, 野手良剛, 北川洋子, 鳴河宗聡, 安岡彰, 川上 純一, 足立伊佐雄: MRSA 感染患者に対する抗生剤の使用状況. *環境感染* 20S: 155, 2005.
- 7) 中川洋子: 和漢診療病棟における薬剤管理指導業務の 1 例, 第 9 回北陸臨床薬剤業務研究会, 2005, 6, 金沢.
- 8) 杉木実, 山岸文範, 山之内恒昭, 坂本純子, 角田美鈴, 矢後恵子, 藤堂美樹, 松田知子, 松浦成志, 塚田一博: NST の介入で胃瘻からのイレウス管を留置のうえで TPN と経口摂取での管理で改善した難治性イレウスの 1 例. 第 10 回 HEQ 研究会, 2005, 9, 名古屋.
- 9) 足立伊佐雄: 漢方処方と病院調剤, 日本薬剤師研修センター漢方薬・生薬薬剤師講座, 2005. 11, 東京.
- 10) 特許公開 2005-330253
- 11) 特許公開 2005-162756
- 12) 特許公開 2005-126402
- 13) 特許公開 2005-112829